

小沢前会長の足跡

前会長の小沢辰男氏は、昭和49年3月第13回通常総会において当工業会会長に選任された。その後、昭和49年から51年9月までの建設大臣、環境庁長官就任期間及び昭和52年から53年12月までの厚生大臣就任期間は会長職を一時はなれたが、終始当工業会の会長として国の廃棄物関係予算の拡大等に関する働きかけを通じて長年にわたり当工業会の発展のため尽力された。ちなみに、会長就任時の昭和49年度一般会計決算額約19兆円において廃棄物関係に対する国の補助金は173億円（他省庁分を含む）であったが、平成14年度は一般会計予算約81兆円で1,800億円（同）となっている。



小沢名誉会長

藤村新会長の総会あいさつ



藤村新会長

ただいまご紹介をいただきました藤村です。

本日ご出席の皆様の中には、良く存じあげた方が多いと思いますが、少々緊張いたしております。

小沢会長は大臣に3回も就任された方で、たいへん立派な方でありますので、後任の私が同じように皆様のお役に立てるか心配です。これからは皆様のご助力をいただき、努力して行きたいと思っております。

今日の工業会があるのは小沢会長のお陰ですが、また会長は大変親しみのある方であります。長い間のご苦労にあらためて感謝を申し上げます。

当工業会会員は廃棄物処理技術の開発によって人々に安全で快適な生活環境を提供するために日夜努力しており、その結果は十分評価されていると思います。

日本の廃棄物処理技術は先進諸国からも大変な評価を得ておりますが、これを国際的ビジネスとすることにはいまひとつであるのが残念なことです。

これからの循環型社会の構築には、廃棄物の物質循環技術を中心として貢献できるものと思います。これに関連した技術をブラッシュアップして行けばより一層世界に役立つものと考えます。

今後は名誉会長となられる小沢会長のご支援をいただき、皆様のご意見をお聞きしながら工業会の発展のため努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

藤村新会長の略歴

昭和30年3月	大阪大学工学部 卒業
30年4月	株式会社 荏原製作所 入社
55年7月	同社 川崎工場長
57年7月	同社 取締役
61年7月	同社 常務取締役
63年6月	同社 代表取締役社長
平成 8年6月	同社 代表取締役会長
	現在に至る